

## 子どもの貧困を 考えてみよう♪



今日は、言葉は知っているかもしれないけれど、中々みんなの話題に上がらない「子どもの貧困」について、少し語り合おうよ！

聞いたことはあるけど、ちゃんと話したことはないな～

現在、日本では6人に1人が貧困世帯、さらに一人親家庭に限っては2人に1人が貧困となっている。子どもの貧困ってなんだろう？どんなことを言うのだろう？どんな解決策があるのだろう…？

### 子どもの貧困ってなに？

- 通学電車に乗れない
  - 怪我しても治せない
  - 塾行けない
  - 教科書はお古
  - おこづかいは300円
  - 障害を持っている子ほどお金がかかりそう
  - 進学するときにお金が必要になる。高校に進学するときも、私立は？…という話になった。
  - 6人に1人ということは、クラスにもいるはずなのに、ぜんぜんわからない！
- (「子どもの貧困」という言葉を始めて聞いたという人は5人中2人)



この本には、いろいろ書いてあるね！

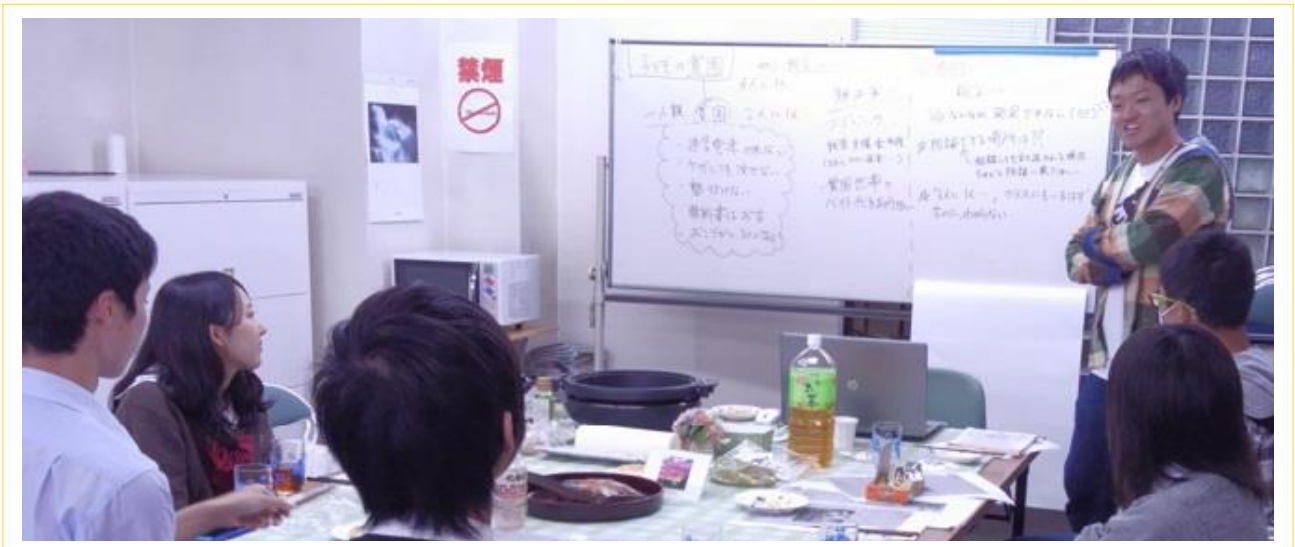
### 大人はなにしているのだろう？

Q 市役所はなにしているの？調査とかしているの？？

→子どもの貧困は表面化することが少なく、かつ中学生の時期など後期に見つかることから、対処に困るケースが多い。市役所としても、これから対策をしていく段階。

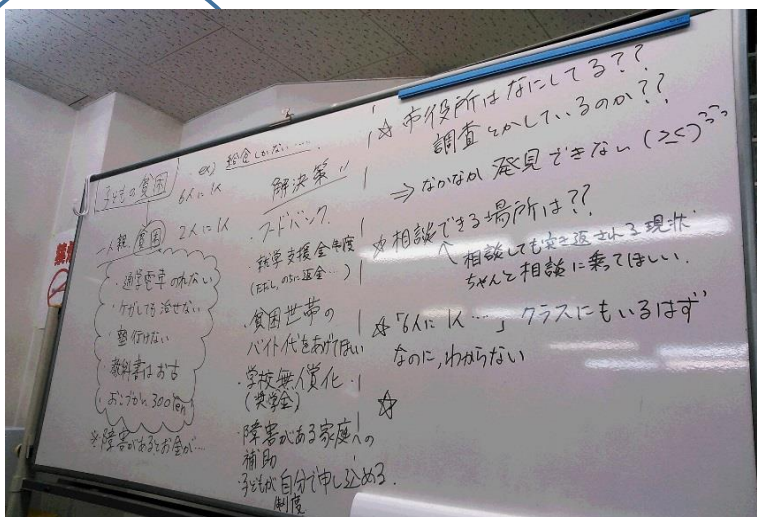
Q 相談できる場所は？？相談しても突き返される。ちゃんと相談に乗ってほしい。

→中学を卒業するときなど、相談できるような仕組みを整えていかないといけないのかもしれない。



## どんな解決策があるだろう？

- アメリカでは、商品として出すことができない野菜をフードバンクとして貧困層に配っていると学校で習った。
- 就学支援金、奨学金、学校無償化（塾は有償）とかがあればいいのに…。
- せめて、貧困世帯のバイト代だけでもあげてほしい！
- 障害がある家庭への補助とかがもっと充実すればいい！
- 子どもが自分で、お金の支援とか就学支援を申し込める制度があるとよいのかもしれない。



実は、みんなにとって、とても身近な話題なんだよ！



赤字：高校生の意見

青字：課題提起など

黒字：ファシリテーター